

年間テーマ  
「共に暮らす家族を大切に!」



No.374

ペンテコステ

2020年12月1日発行  
(毎月1回1日発行)

カトリック谷山教会

891-0113  
鹿児島市東谷山2-33-13

TEL 099-268-2084  
FAX 099-268-5738

E-mail:taniyama-cc@lagoon.ocn.ne.jp URL:http://www5.ocn.ne.jp/tyco/

発行人： 頭島 光 神父 編集委員： 太田 勇次郎 岸 誠之助 上原 敏子 上釜 照美

ペンテコステ 12月号 一卷頭言一

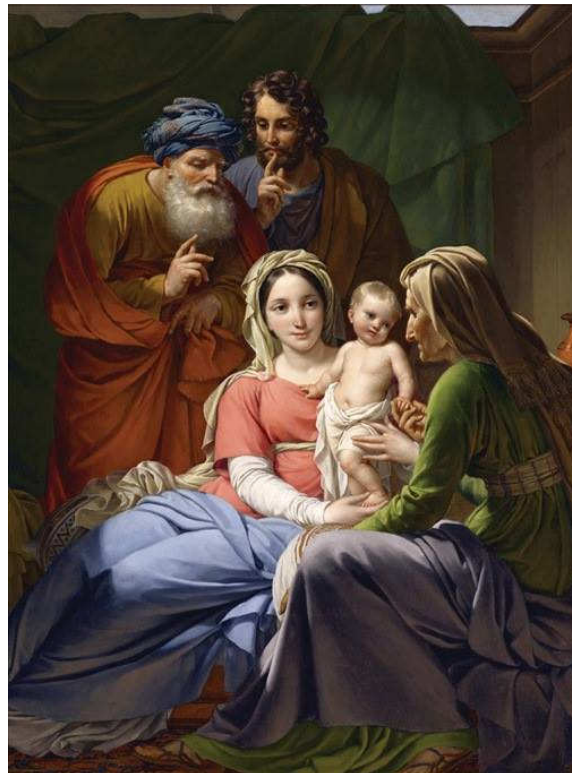
カトリック谷山教会 主任司祭  
トマス 頭島 光

「目を覚ましていなさい」

いよいよ待降節です。この時節になると、神様はしきりに私たちに「いつも目覚めていて、主人の帰りを待つ僕のように待っていないさい」とか、「気を付けて、起きていなさい」と言います。なぜでしょうか。なぜ、私たちは気を付けていないといけないのでしょうか。すると、また神の声が聞こえて来ます。「あなたがたはその日、その時を知らないのだから」と言われてしまいます。確かにそうです。具の根も出ないとは、まさにこのことです。これからの4週間を忍耐して待つ僕となって、神の言葉に耳を傾けてみましょう。

#### ◆いつもと違う日常

私たちは既に「いつもと違う日常」の中にいます。口にはマスク、手には消毒、人込みは極力避け、旅に出るのを控えて、歌を歌うことも、皆でお酒を飲むことも、半ば諦めているからです。今までと全く違う、こんな日常に一体誰がした、と叫んだところで声が枯れるだけ。ならば、ただひたすら個食に耐えて待つ僕となって、徹底的に祈るしかないのでしょうか。そうすれば、いつか、この「いつもと違う日常」も不安を通り抜けて、これをもって日常と心得るばかりです。



#### ◆すべての時を乗り越えて

人の子であるキリストは、今また私たちのもとに来て下さる。第一の降臨とは、御降誕、そして第二の来臨は審判の時です。今日から第一の降臨を待ち望む季節に入っていきます。マリア様を通して、肉をもって、人と成って、幼子として、私たちのこの世界に降りて来て下さるのです。それは、全ての時を乗り越えて、来て下さる、という意味です。つまり、幼子誕生はただ一回限りの誕生では終わらない。すべての時を飛び越えて、今日も、そして明日も、これからずっと共にいるということです。

#### ◆すべてを見るまなざし

幼子のまなざしは、真っすぐ、神様の方だけを見ています。神様も真っすぐに幼子イエスを見ています。私たちも真っすぐに神様の方だけを見つめて、頭を上げましょう。厳しい現実には耳を塞ぎ、目を閉じないでください。現実の一步向こう側に輝く光を見出すためにも、真っすぐに頭を上げて、向こう側に心に向け直してみしましょう。私たちの救いのときは近いからです。

#### ◆寄り添うこと

人は悲しむ時、寄り添う誰かを求めるものです。辛くて、どうしようもない時、助けを求める弱いものです。痛みは知れば知るほど、沢山の寄り添い方を覚えるものです。寄り添うってことは、相手の気持ちを聞いて、尋ねて、その答えを聞いてあげることだとわかりました。幼子イエスは、静かに「飼葉桶」の中に寝かされたまま、私たちの痛みと悲しみ、そして辛さを受け取ってくださいます。その優しい寝顔を見ているだけで十分です。もう、不安などありません。イエス様はそこにいてくださいますから。



#### ◆あったかい心

クリスマスはもう近い。あったかい心で迎えましょう。あったかい心は愛に満ちています。不安な気持ちなんか、簡単に吹っ飛ばしてしまうくらい、愛に満たされたい。そんなクリスマスの日が、もうすぐそこまで来ています。私たちが迷いの道から連れ出して、恵みの徴へ導き出してください。羊飼いたちが、天使の声を聞いて、出向いて行ったように。私たちが飼葉桶に寝かされて、真っ白な産着に包まれて、安らかに眠る幼子のいる場所へ、連れて行ってください。

## 12月の＜公開ミサ＞参加の仕方及び各班の典礼奉仕のお願い

◆12月になり、いよいよ待降節が始まりました。新型コロナウイルス感染症はますます拡大し増え続けています。世界の感染者数は累計でついに5800万人を超えました。私たちの祈りも終わりません。引き続き、祈り続けましょう。

◆今後も主日ミサ参加は分散型でお願いします。前晚ミサ(午後7時)、当日の早朝ミサ(午前6時半)に分散して参加されますようご協力ください。!

◆また入堂前の手指消毒及びマスク着用は遵守のこと。マスクは必ずご持参下さい。マウスシールドは購入し用意があります。ひとつ100円です。献金してください。

◆三密回避対策として聖堂への入場制限は50人です。但し、典礼奉仕の方々を除きます。それ以外の方々には、ロビー内或いは泣部屋に椅子を用意しています。

■聖堂内では、前後左右、間隔を空けた形で、白印を前に着席してください

■拝領の際は、前後1m程間隔を空け、1列に並んで前へお進みください

■12月の典礼奉仕、先唱及び朗読の役割分担は以下の通りです。

◇ 11月29日 待降節第1主日 午前9時～ライブ配信ミサ 先唱及び朗読奉仕 ● 6・7班

◇ 12月6日 待降節第2主日 午前9時～ライブ配信ミサ 先唱及び朗読奉仕 ● 8・9班

◇ 12月13日 待降節第3主日 午前9時～ライブ配信ミサ 先唱及び朗読奉仕 ● 10班

◇ 12月20日 待降節第4主日 午前9時～ライブ配信ミサ 先唱及び朗読奉仕 ● 1班

◇ 12月27日 聖家族主日 午前9時～ライブ配信ミサ 先唱及び朗読奉仕 ● 2・3班

★クリスマス聖夜ミサは、典礼当番に関係なくすべて参加可能です。時間は12月24日の午後7時と午後9時の二回に分けて行います。但し、午後9時のミサはアルフォンソ合唱団が歌います。

★元旦ミサは午前10時のみとします。★聖夜ミサも元旦ミサも座席カードが配布されます。必ず氏名、名前、電話Noを書いて提出しましょう。

★共に新型コロナウイルス感染症拡大終息を願い、医療従事者とその関係者の方々にウィルスに立ち向かう勇気と力、また感染者とその家族への悪質な誹謗中傷がやみ、彼らが前向きに生きる力と希望に満たされますように祈りましょう。

神に感謝! (2020/11/28) 主任司祭 トマス頭島光